



## 講義の紹介（呼吸理学療法学）

皆さんは理学療法に対してどのようなイメージを持たれているでしょうか？

多くは部活動等で怪我をした際の理学療法（スポーツの理学療法）や、脳血管障害の患者さんに対する理学療法を思い浮かべるのではないのでしょうか。



近年、内部障害理学療法学の活躍の場は拡がりつつあります。内部障害とは、心臓、呼吸、腎臓など身体内部の臓器の障害を指します。内部障害理学療法は、生活習慣病の予防を含めて、心不全や慢性呼吸器疾患、糖尿病などの患者さんが対象となります。

内部障害理学療法学の中で、呼吸理学療法学は主に呼吸器疾患の患者さんに対して理学療法を行います。呼吸理学療法の主な治療は下肢のトレーニングです。呼吸器疾患患者さんのトレーニングは他の疾患とは違い、呼吸に合わせて運動を行うことや、時に患者さんが呼吸困難を引き起こした際に、理学療法士が患者さんの胸郭を介助する「呼吸介助法」などがあります。その他、痰がたまっている部分を上にして体外に痰を出してあげる「排痰法」、効率の良い呼吸法の指導「呼吸訓練」など患者さんの状態に合わせて理学療法を行います。



本校では患者さんの体にどのようなことが起こっているのか（フィジカルアセスメント：視診・触診・聴診・打診）の学習も他の科目（呼吸循環評価学）で行います。

患者さんの体に何が起こっているのか、そのためどのような理学療法を行わなければならないか一連の流れの中で学ぶことができます。

本校では内部障害の理学療法について学ぶ時間を多くとっています！是非、これから必要とされる「内部障害理学療法学」を本校で学んでみませんか？？？